

平成22年度臨時理事会 議事録

日 時：平成22年6月6日（日）11：50-12：40

場 所：岐阜赤十字病院・講堂

出席者：北村、永井、石郷、多和田、平沢、金森、松山、森、宮内、渡辺、梶谷、田中、近藤
鈴木、兼子、臼井、平塚、南谷、山本（貴）、西村、林（以上21名）

議 長：永井 副会長

議 題：

1. 会長挨拶

- ・平成21年度第2回定期総会で会費の値上げと平成22年度予算案が承認されたが、今年度は節約を心がけて執行して行きたい。そうすれば、中間&決算報告でよい結果が得られると信じている。
- ・平成22&23年度の役員と運営役務分担が決まり、役員一丸となって岐臨技事業を遂行して行きたい。

2. 精度保障事業について

田中理事から

平成21年度（2010.3.31まで）で3ヶ年計画の臨床検査データ共有化事業の終了時期に来ていた。先般、各県代表者が集まった日臨技会議があり、引き続き事業は日臨技の予算で継続して実施することになった。精度保障委員会で継続して進めていくが、理事の皆さんにも進捗状況を報告する必要があると思われたので、今回の臨時理事会を開催した。

1) 基幹病院を新規に選定する

- ・第一基幹施設：久美愛厚生病院
- ・第二基幹施設：中濃厚生病院
- ・第三基幹施設：大垣市民病院
- ・第四基幹施設：岐阜市医師会臨床検査センター
- ・第五基幹施設：欠（多治見市民病院でしたが、今回は辞退された）

以上のように基幹病院を選定した。

多和田理事から

2) 基幹病院を決めた経緯の説明

- ・基幹病院の役割として、各地域の標準化を押し進めていく事。
- ・精度保障部の担当者と話をして、基幹病院を決めた。
- ・本来は地区理事が基幹病院を推薦して、理事会で依頼を行うのが望ましい。
- ・大学病院に基幹施設として入って頂きたいが、辞退された。（全国で大学病院が入っていない県は三重県と岐阜県のみ）

3) 検査室精度保障認証制度指針の提案

日臨技主催の事業に参加し、標準化され、かつ精度が十分に保障されていると評価できる施設に対して、精度保障臨床検査室として認証する制度が日臨技から提言された。

- ・岐阜県精度保障臨床検査室認証委員会の委員を選定して、6月末までに日臨技へ報告する依頼が来ている。
- ・8月8日に全国技師会会長会議が予定されているので、各県で会長および理事に説明をするように日臨技から通達があった。
- ・神戸学会の前日に日臨技総会が開催された。その場で、精度保障事業部から急いで進めてほしいと言われたが、新会長は少し待ってほしいと言われ、8月8日の会長会議で提案したい

意向。(石郷副会長)

- ・認証によるメリッド・デメリット、施設格差をつけるのはどうか等討論する事項が多々あると思う。
- ・委員には是非大学病院が入って頂きたい。その他のメンバーとして精度保障部長、基幹病院が入って頂きたい。(多和田理事)
- ・6月末までに決められなかった場合は、未定として日臨技へ報告する事とした。
- ・8月8日の会長会議で新執行部から提案される内容で対応を考える。(石郷副会長)
- ・会長会議で、意図するところが違うときは反論する意見を言うつもりである。(北村会長)

3. 中部理事会 (6/5) 報告

永井副会長より

各県への宿題事項

1) 日臨技の会員制度について

- ・日臨技会費が自動引き落としにする案がある。
- ・日臨技会費からの2500円で臨床検査技師賠償責任保険の任意加入部分を会員全員に加入する計画がある。

※現状は、臨床検査技師賠償責任保険の会員全員加入部分で100万円までの補償限度額あり。

- ・公益法人に向かって、理事の人員をどうするか
- ・各県技師会会員にならずに、日臨技の会員だけでもできる案がある。

4. その他

1) 日当について

- ・交通費の見直しが出来たら、日当の支給をします。(北村会長)
- ・第1回理事会では日当は支給されなかった。

2) 各施設の配送書類

- ・経費節減のため、理事会の際、持ち帰って配布の協力をお願いします。(平沢庶務部長)

以上

議 長 印

議事録署名者 印

議事録署名者 印